

平成30年度

事業実績報告書

平成30年 4月 1日から
平成31年 3月31日まで

学校法人

茨 木 学 園

茨木みのり幼稚園

創立の趣旨

いわゆる私学の自由な立場に立ち、あたたかい雰囲気とまことの心を持って幼児を保育し、真理に目覚めた正々堂々たる人間として、共同社会における各自の立場で、必要欠くべからざる人に育てるべく、幼児教育を実践する。

教育の理念

- ・人と人がかかわって、豊かな遊びが発展していく環境を作る。
- ・子供の主体性や感性、知性そして人間性を育む教育の実践。

教育の目標

ひとりひとりの個性を大切にしながら、明るく生き生きとした子どもの育成に努めます。

- ・基本的な生活習慣、態度を育て、健康で丈夫な身体をつくります。
- ・自分で考えて行動できる力を養います。
- ・人との関わりの中で社会性、協調性を養います。
- ・様々な体験を通して豊かな感性、創造性を育てます。

教育の方針

- ・子どもにとって良い環境を整え、明るく伸び伸びとした集団生活を営ませます。
- ・ひとりひとりの子どもの発達段階に応じた保育を行います。
- ・様々な人や物、出来事と出会い、興味や関心を大切に、意欲や思いやりのある子どもを育てます。

平成30年度

事業実績報告書

平成30年4月 1日から
平成31年3月31日まで

(I) 法人の概要

- 法人名 学校法人茨木学園
- 幼稚園名 茨木みのり幼稚園
- 郵便番号 567-0891
- 所在地 茨木市水尾3丁目1番41号
- 電話番号 072-632-2771
- FAX番号 072-634-6554
- E-mail info@minority.ac.jp
- U R L http://www.minori-y.ac.jp
- 理事長名 中 好 枝
- 園長名 前川 みつる

1. 幼稚園認可年月日 昭和28年 9月29日
2. 創立記念日(開園日) 昭和28年10月20日
3. 法人認可年月日 昭和47年 9月 1日
4. 所轄庁 大阪府知事
5. 役員数

選任区分	寄付行為の規定内容	定数	現員	任期
(理事)				
寄付行為第6条第1項第1号	茨木みのり幼稚園園長	1	1	-
第6条第1項第2号	評議員会選任理事	5	5	3
第6条第1項第3号	理事会選任学識経験者	1	1	
計		7	7	-
(監事)	-	2	2	3
(評議員)				
寄付行為第23条第1項第1号	法人の職員で理事会で推薦し評議員会選任	5	5	3
第23条第1項第2号	卒業生若しくは卒業生の保護者又は生徒の保護者で理事会選任	5	5	
第23条第1項第3号	理事会選任学識経験者	5	5	
計		15	15	-

6. 諸規定の整備状況

項 目	規定の有無	規定の名称
教職員の就業に関する規定	有	「就業規則」
教職員の給与・退職金に関する規定	有	「給与・退職金規程」
教職員の育児・介護休業に関する規定	有	「育児休業規程」「介護休業規程」
会計に関する規定	有	「経理規程」「経理規程施行細則」
授業料の減免に関する規定	有	「授業料減免規程」
入学金の減免に関する規定	有	「入園金減免規程」
入園金の返還に関する規定	有	「入園金返還規程」
慶弔・旅費などに関する規定	有	「慶弔規程」「旅費規定」

7. 理事会の開催状況

- 平成30年 3月24日、平成30年度事業計画・予算承認
平成30年 5月26日、平成29年度事業報告・監査報告・決算承認、平成30年度5月補正予算承認
平成31年 2月23日、平成30年度2月補正予算承認
平成31年 3月23日、平成31年度事業計画・予算承認

8. 公認会計士の監査状況

- 監査実施年月日 平成30年4月23日、平成30年11月15日、平成31年3月12日
監査報告参考事項の有無... なし

9. 基本財産等の管理状況

① 園 地

区分	自己所有(m ²)	借用(m ²)	計(m ²)	所有者	抵当権設定の有無
園舎敷地	1,561.66	—	1,561.66	学校法人 茨木学園	無
運動場	1,466.14	—	1,466.14		
(うち幼稚園)	(1,466.14)	—	(1,466.14)		
(うち保育所)	(0.00)	—	(0.00)		
その他	440.36	—	440.36		
合計	3,468.16	—	3,468.16		

② 園 舎

建築年度 構造	棟番	自己所有(m ²)	棟番	借用(m ²)	棟番	計(m ²)	所有者	抵当権設定の有無
昭和43年 鉄筋コンクリート	A棟	877.22	A棟	—	A棟	877.22	学校法人 茨木学園	無
平成7年 鉄筋コンクリート	B棟	1,318.38	B棟	—	B棟	1,318.38		
平成18年 鉄骨	C棟	392.41	C棟	—	C棟	392.41		
平成7年 鉄骨	D棟	239.76	D棟	—	D棟	239.76		
合計		2,827.77		—		2,827.77		

(園舎の内訳)

(地階)

室名	棟番	面積 m ²	室名	棟番	面積 m ²
園長室	B棟	46.60	倉庫①	B棟	54.35
職員更衣室	B棟	15.85	廊下・その他①	B棟	40.08
受水槽ポンプ室	B棟	28.56			
湯沸室	B棟	2.85			
研修室	B棟	77.44			

(地階小計265.73m²)

(1階)

室名	棟番	面積 m ²	室名	棟番	面積 m ²
保育室①	B棟	55.02	ユーティリティ	B棟	6.95
保育室②	B棟	64.46	廊下・その他②	B棟	121.50
保育室③	B棟	54.00	廊下・その他③-1	A棟	22.71
保育室④	A棟	54.38	廊下・その他③-2	A棟	22.71
保育室⑤	A棟	54.38	廊下・その他⑨	C棟	10.12
保育室⑥	A棟	54.38	ピロティー	C棟	126.44
保育室⑦	A棟	56.54	廊下・その他⑪	C棟	8.73
保育室⑮	D棟	58.31	廊下・その他⑭	C棟	40.56
保育室⑯	D棟	58.31	廊下・その他⑰	D棟	11.34
職員室	B棟	53.91	プレイコーナー①	A棟	29.19
保健室	B棟	4.74	プレイコーナー②	A棟	58.38
クリーンルーム	B棟	7.14	プレイコーナー③	A棟	29.78
事務室	B棟	23.05	倉庫⑤	C棟	14.70
多目的ホール①	B棟	50.10	倉庫⑭	D棟	1.96
湯沸室	B棟	8.18	倉庫⑦	D棟	4.05
調理室	D棟	71.78	倉庫⑧	D棟	2.70
便所①	B棟	21.44	倉庫⑨	D棟	5.40
便所②	A棟	22.36	倉庫⑩	D棟	5.40
便所③	A棟	22.36	倉庫⑪	D棟	4.14
便所④	B棟	3.20	倉庫⑫	D棟	3.10
便所⑩	D棟	4.86	倉庫⑬	D棟	5.65
便所⑪	D棟	2.76			

(1階小計 1,341.17m²)

(2階)

室名	棟番	面積㎡	室名	棟番	面積㎡
保育室⑧	A棟	54.38	プレイコーナー④	A棟	29.19
保育室⑨	A棟	54.38	プレイコーナー⑤	A棟	45.14
保育室⑩	A棟	54.38	倉庫②	B棟	32.19
保育室⑪	A棟	56.54	便所⑤	B棟	9.68
保育室⑫	C棟	54.75	便所⑥	A棟	8.60
保育室⑬	C棟	54.75	便所⑦	A棟	8.60
保育室⑭音楽室	B棟	54.10	便所⑨	C棟	13.25
遊戯室	B棟	234.09	廊下・その他④	B棟	33.94
図書室	B棟	44.46	廊下・その他⑤	A棟	126.02
多目的ホール②	B棟	69.77	廊下・その他⑫	C棟	16.79
			廊下・その他⑬	C棟	7.18

(2階小計1,062.17㎡)

(3階)

室名	棟番	面積㎡	室名	棟番	面積㎡
ゲストルーム	B棟	75.85	廊下・その他⑥	B棟	18.61
倉庫③	B棟	6.28	廊下・その他⑦	B棟	40.76
倉庫④	B棟	8.60	廊下・その他⑧	B棟	4.30
便所⑧	A棟	4.30			

(3階小計158.70㎡)

合計 2,827.77㎡

10. 施設設備の整備状況

●保育棟の環境

- ① 保育室と廊下(前室)は、段差のないフローアにして一体感を出し、子どもたちの遊び場としています。
- ② 全保育室に冷暖房設備、年少・年中組1階保育室には床暖房を備えています。
- ③ 保育室内の子どもたちが毎日使用するロッカーやおもちゃ棚は、使いやすさを考慮したオリジナルなものをセッティングしています。
- ④ ひみつの柱 子どもたちの格好の隠れ場所として活用しています。
- ⑤ プレイコーナー 保育室のドアを開け放すと、ひと続きのオープンスペースになります。
- ⑥ 2Fホール 遊戯室へ入る手前の2Fホールは、トップライトから光が差し込むようになっており、図書コーナーにつながっています。
- ⑦ 図書コーナー 保護者が一緒に入って絵本を見たり選んだりできる図書コーナースペースがあり、貸し出しできる絵本も豊富にあります。
保護者用 557冊 職員室用 687冊
絵本 2,116冊
図書貸し出し 年長組週1回実施
- ⑧ 遊戯室 遊戯室は、全園児がゆったりと集会できるフロアがあり、舞台まわりが全部階段になっていて、舞台とフロアに一体感を出しています。
- ⑨ 音楽室 2Fの音楽室には、いろいろな楽器がそろっています。
(キーボード、マリンバ、グロッケン、ヴィブラホーン、バスキーボード、コンガ、ボンゴ、スタンドシンバル、ハイハット、大太鼓、小太鼓、平太鼓、タムタム、バスマリンバ、ウインドチャイム、ハンドベルなど)
- ⑩ ピロティ 子ども遊び広場として、また保護者のための送迎待機場ともなります。
- ⑪ トイレ 乾式の明るく衛生的な子ども用洋式トイレ(暖房便座)を完備し、男児用は自動センサーで水が流れます。3歳児用のトイレは、教諭の目が届きやすいように扉をはずしています。1Fトイレには2歳児用トイレ、乳幼児おむつ用ベッド及び乳幼児いすを設置しています。

●園庭の環境

- ① 園庭は必要に応じて土の入れかえを行い、いつでも裸足で遊べるように整備しています。
- ② 園庭の東にある築山には人工芝を張り、斜面を利用した遊び場や、四季を感じたり小鳥たちの集まる樹木を植栽しています。
- ③ 築山の片面には石を積み、池や滝を作って水を循環させています。池ではカメを飼っています。

- ④ 園庭の周りには花壇を多くとり、四季の草花を楽しんでいます。
- ⑤ アスレチック遊具 KOMPAN遊具を数種類組合せたアスレチック総合遊具を設置しています。
(滑り台・登梯子・傾斜ネット・展望台・回旋塔・登攀ネット・登坂壁)
- ⑥ 砂場 藤棚に囲まれた砂場は、夏も涼しくどろんこ遊びも存分に楽しめる広さがあります。
2・3歳児専用の砂場を別に設置しています。
持続性のある消毒を行い、安全に砂遊びができます。
- ⑦ ログハウス 角ログを使ったログハウスがあります。
- ⑧ 屋外ステージ 角材を使った半円形の屋外ステージがあります。
- ⑨ 農園 園庭の隅にあり、いちごや野菜(玉ねぎ、ミニトマト、スナップエンドウ、さつまいも、きゅうり、なすび、おくらなど)の収穫も経験します。
- ⑩ プール 夏の暑い時のプールが気持ちがいと感じられるように、屋外プールを屋上に設置しています。
- ⑪ 動物小屋にはアヒルとチャボがいます。
- ⑫ 園舎1階の廊下にウサギや小鳥(セキセイインコ、文鳥、十姉妹)がいます。
(その他各クラスでカメやザリガニ、金魚などを飼っています。)

●その他の環境

- ① 空調設備等 全保育室に冷暖房設備、空気清浄機を設置。年少・年中組1階保育室には床暖房も設備。
遊戯室・音楽室、研修室なども冷暖房設備。
- ② バリアフリー 正門前及び1階保育棟入口にスロープ
保育室と廊下ホール間に段差なし。身障児(者)用トイレあり。
- ③ エレベーター 保育者の援助のもと、身障児(者)のためのバリアフリー対応としてエレベーターを設置しています。給食の搬送にも利用できます。
- ④ 研修施設等 地下1階には園内研修の勉強会のための教員研修室があり、3階のゲストルームはP.T.Aの活動に利用されています。
- ⑤ 給食設備 食育の重要性を認識し、ふれあいホールの一 corner に自園調理に必要な調理機器 および配膳用機器を整え、自園給食を実施しています。
- ⑥ 園内全てLED電球を使用しています。

11. 収容定員・実員

(平成30年5月1日現在)

	3才児	4才児	5才児	合計
定員	120	140	140	400
実員	100	110	111	321
園則に定める学級数	5	4	4	13
実学級数	5	4	4	13
学級名	ぞう組20名 くま組20名 うさぎ組20名 ひよこ組20名 ぺんぎん組20名	うめ組27名 きく組28名 もも組28名 ふじ組27名	さくら組28名 あやめ組28名 かんな組27名 つばき組28名	

12. 教職員組織

(平成30年5月1日現在)

	幼稚園教諭免許状の種類	担任・職務区分
専任園長	1種1名	-
専任教諭	専修0名 1種11名 2種8名	3才児担任5名・4才児担任4名・5才児担任4名・フリー教諭6名
兼任教諭	専修0名 2種4名	フリー教諭3名 預り保育担任1名
事務職員	2種1名 -	専任1名(会計・庶務) 兼任1名(事務・渉外)・兼任1名(園務・事務)

13. 教員の平均年齢 29歳

14. 園医等の状況

園医 1名
園歯科医 1名
園薬剤師 1名

(Ⅱ) 事業の概要

(1) 本年度の概要

- ① 幼児教育を巡る環境は、大きく変化していくことが予想されますが、国の動向も注視しながらまずは、本園の地域・保護者のニーズに応じた私立幼稚園の像を作り上げ、子どものためになる幼稚園を創造していきたいと考えております。
3歳児定員の拡充、子育て・家庭支援の取組みを強化すると共に、子どもの健やかな成長、発達を保障するため、今後とも、教育・保育の内容、教職員や施設設備等保育環境の充実を図り、今日まで以上に地域に根差した幼稚園としての位置づけを明確にし、本園独自の教育方針を確立するため、より一層の努力を重ねる必要があります。

本年度の園児数は別記の通り平成30年5月1日現在321名(前年度333名)
入退園を差引した年間平均園児数は3歳児5学級100名(前年度109名)・4歳児4学級110名(前年度112名)・5歳児4学級111名(前年度112名)合計321名の運営でありました。
- ② 園児納付金については、本格的な少子化を迎えることによる収支差額の悪化に備える為に、昨年度の年少につづき、平成30年度は4歳児の保育料を22,000円から24,000円に引き上げました。
平成31年度は年長組の保育料を引き上げていく予定です。
なお、兄弟姉妹同時に在園する事となる場合、入園金については経済状況の変化と共に減免を実施しています。
- ③ 保護者の対応に任ずる「主任」職を置いています。また、子育て支援の役割を担う育児相談や預かり保育・プレイルームの本格的実施に伴い、育児体験・社会経験豊かな教員を複数配置しました。
チーム保育や障害児保育などの充実のため、非常勤教諭・フリー教員の配置も行っております。
教員の資質向上は社会の関心事であり、園の研修体制や研修内容の質の向上・充実を図り、大阪府や私立幼稚園連盟など主催の外部の研修会にも積極的に参加しました。教員の免許更新についても連盟や教員の出身大学などの更新講習への参加を勧めました。
本園の教育方針や指導計画、教員の保育実践における[振り返りの専門性]を確立するために自己点検・自己評価に関する学びを深め、実施しています。学校評価の結果はホームページなどで公表しております。
- ④ 教育事業としての保育内容の充実にあたっては、遊べる子どもに育つことによって、社会性や自主的態度を育成し、遊びから学習することを知り、認識機能を発達させるよう取り組みました。また表現活動(造形・音楽・劇的活動)を通して感性を磨き、童話や動植物に触れ、子どもの心を育てるよう取り組むとともに、体力づくりにより、運動機能を発達させるよう取り組みました。「体育指導」では基礎体力が身につくように各学年に応じた指導計画を作成し、躰全体を使つての運動やゲームにより、視覚と聴覚を通して運動感覚を養いながら運動機能の発達に取り組み「音楽指導」では幼児期の聞く力の発達を図り、歌うことや楽器を使うことの楽しさを味わいながら、リズムパターンを奏でたり、メロディーの出る楽器が使用できるように取り組みました。また年長組と年中組では外国人と親しく接し、楽しく遊ぶ機会を作るため、外国人による「英語レッスン」の時間を年間を通して設定しました。
「幼稚園教育要領」にある発達や学びの連続性に留意し、小学校教育との接続性や体験や言葉の重視を図りました。
本年度重点的に取り組んだ目標や計画は、新しく作成した教育課程に基づいて、毎日の保育を展開し職員間で教育課程の内容を確認し改善に取り組みました。そして子どもの実態に合わせた行事の検討をしました。
園内研修は保育の質を高めるために継続しています。
また、保護者の相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がけ臨床心理士の意見も仰いでおります。
安全面においては、流行性感染症等に注意を払い、怪我の処置も適切に行いました。
消防、地震、防犯訓練を計画的に年間9回実施いたしました。
又、地域の方に幼稚園に来ていただく機会をつくり、地域交流を図りました。又、園の職員が地域に出向くことも試みました。
「特別支援教育」については障害児を健常児と保育することにより身体的・心理的に望ましい発達を助長し健常児にも望ましい心情を育むことを目標に積極的に取り組みました。わが子の育ちに不安を感じる保護者相談や教諭による集団保育への参加が難しい子どもへの個別支援計画を作り本年度は9名を受け入れました。
- ⑤ 「預り保育」事業など子育て支援は幼稚園が果たすべき、必須の役割となりました。「預り保育」については「単に預かる」だけではなく保育内容も定め、保育の質も確保しています。
従来は保育所しか選択できなかった幼児や保育所入所要件に達しない保護者の幼児も含めて安心して幼稚園を選択し、質の高い幼児教育を受けられる環境整備を進めています。
「大阪スマイルチャイルド事業」に参画し、幼稚園開園11時間以上及び5時間以上の預かり保育時間数の実施、通常預りは月曜日から金曜日の保育終了後の午後2時～5時とし、早朝預り午前7時30分～8時40分、延長預り午後5時00～6時30分を実施しました。長期休業中の預り保育を1日10時間・年間41日間実施しました。通常預り保育日数は184日、延べ5982名が利用し、休日預り(土曜日)保育日数25日18名、長期休業中の預り保育日数は41日間、延べ1313名が利用しました。

子育て支援のため「親子で遊ぼう」(未就園児対象)毎月第2土曜日、「園庭開放」毎月第4土曜日、「教育相談」毎月第2土曜日、「キンダーカウンセラー」(臨床心理士)年間12回などを実施しました。親と子の育ちの場として未就園児を対象とした2才児クラス「プレイルーム」では身体の成長とともに知能や思考力、情緒、感性、社会性などを育てていく大切な成長の足掛かりとして色々な経験を与え、他の子どもとも少しずつ触れ合える場にしました。1日2時間週1回コース4クラス延べ1440人1回当たり12人が利用しました。赤ちゃんサロン「コアラルーム」を開設して子育て支援を図りました。

- ⑥ 園庭遊具の安全確認、砂場の消毒、水質保全検査・貯水槽清掃、火災報知設備点検修理、防犯システム点検修理、エレベーター点検整備、保育室・園庭遊具・プールの塗装替え、保育室・ホールの床ワックスがけをはじめピアノ調律、植木や花壇の手入れ、学期ごとの各所補修工事等を行ないました。

(2) 本年度特に力を注いだ教育事業の取り組み

① 保育の充実のため重点的に取り組んだ目標・計画

項目	取り組み状況
新しく作成した教育課程に基づいて毎日の保育に取り組む。	・教育課程と新教育要領の「幼児期の終わるまでに育てほしい10の姿」を意識して指導案を立てる。 ・指導案に基づいて保育に取り組み、各自振り返る。
教育課程の内容の確認	・年齢別で毎月の教育課程の読み合わせをする。 ・教育課程に基づいて、日々保育に取り組む中で微調整する。
教育課程を見直し、子どもの実態に合わせ作成する。	・1年間の行事を整理し、それぞれのねらいを明確にする。 ・子どもの実態に合わせた行事の取り組みになっているか、各学年で話し合い、更に次につながる取り組みを全職員で検討する。 ・三大大行事に関しては、保護者にアンケート調査を行い保護者の思いを把握する。
園内研修	・経験の浅い先生を中心に月1回のペースで研究保育を行う。保育を実際に見る人、ビデオを見る人に分かれる。その後の反省会では意見を可視化する為にマインドマップを用いたり、出た内容を関連する項目でまとめたりしながら、整理して話が進められるようにした。全員が意見を持って臨めるよう「post it」も使用する。 ・夏に新任対象に園内研修を行う。園の歴史、実践的な手遊び、遊びの取り組み、絵画などについて学び、新任の悩みや思いを聞き合う場を持つ。 ・1年間の歌のまとめを表にし、他にうたえる歌を出し合う。 みんな実際に歌をうたってみる。 ・保育技術、わらべうた、子どもの主体性を育てるための遊びの取り組みなども行う。
外部研修	・それぞれの立場で、経験年数に応じた研修に積極的に参加する。(園長研修、主任研修、9年研修、新任研修) ・特別支援コーディネーター研修、子育て相談員の認定講座に参加し、支援の必要な子どもや保護者対応についての知識を得る。

② 家庭との連携

- 保護者に毎日送迎してもらい、降園の時には園内に入って、園児の様子をその場でお話し、保護者からのお尋ねについてもすぐに答え、常にコミュニケーションを大切にしながら信頼関係の構築を図りました。
- アンケートを取り保護者の思いを知り、できる範囲で要望に応える姿勢を示しています。
- 保育参観は年6回行い、保護者懇談会は、学期ごとに個人面談の方式で行ないました。
- 毎月誕生会を行い、その月の誕生児の保護者をお招きして園児の様子を見てもらいました。
- 行事予定などのお知らせはインターネットのHPやプリントで行い、各クラスの様子なども学年だより、自然・動物だよりで理解を深めてもらいました。
- 図書コーナーで年長児に週1回、保護者と一緒に絵本の貸出しをしました。保護者用の図書もそろえました。保護者に絵本の紹介を年に3回配布しています。
- PTA活動の中では、AED救命救急講習会を行い、危険な時の対応を消防士の方に教えていただくとともに保護者同士の親睦もはかりました。

③ 地域との連携

- 校区の小学校と連携を保ち、1年生に就学した子どもたちの様子を見学したり、就学前には体験入学に参加しました。
- 7月末には同園会を開催して1年生～3年生までの卒園児を招き、幼稚園の雰囲気を感じてもらいました。
- 校区中学校から職場体験に来てもらい、中学生とのかかわりを持ち、中学生にとっても貴重な経験になりました。
- 年長児は夏には茨木市中央公民館で七夕伝説などのプラネタリウムを鑑賞しました。秋には茨木市消防署の見学をしました。
- 年中児は12月に茨木市水尾図書館に見学に行き、ボランティアの方よりお話を聞いたり、絵本を見たりと貴重な体験をしました。

④ 教職員の研修

- 子どもたちにとっての一番の環境は教諭だと考え、教諭には自分を磨く努力を常にしてもらえよう、園内での勉強会、幼稚園連盟などが行う研修会などへ参加しました。
- 毎月研究保育を行い、どのクラスも年1回担当し、主に同学年の教諭・園長が参観し、VTR撮りも行い保育終了後に全教諭でディスカッションを行ないました。
- いろいろな方面から勉強ができるように内容に応じた講師を招き、園内研修を重ねました。
- 夏休みには園内で新任研修を行いました。又、研修会に出かけ、研修成果の報告会をしました。

⑤ 施設、設備の充実

- 4月 ・保育室ワックスがけ ・各所塗装替え ・春休み各所補修工事
・ピアノ調律 ・廊下、トイレ、園舎内全てLED電球に替える
- 5月 ・水質検査 ・砂場の消毒 ・樹木剪定
- 6月 ・プール塗装替え ・地震破損箇所補修工事
- 8月 ・夏休み各所補修工事 ・貯水槽清掃工事 ・樹木剪定
- 9月 ・砂場の消毒 ・台風による水漏れ補修工事
- 10月 ・廊下、階段、遊戯室のワックスがけ ・消防用設備点検 ・改修工事 ・遊戯室の空調入れ替え
- 12月 ・冬休み各所補修工事 ・屋上テント撤去
- 1月 ・樹木剪定・砂場の消毒
- 3月 ・遊戯室の屋根修理

⑥ 音楽指導

幼児期は、聞く力が発達します。年少組では簡単な打楽器を使いながら、好きな歌や好きなリズム打ちをしてリズムにのる楽しさを味わせました。

年中組はリズムパターンを正確に打楽器で奏でられるよう、年長組ではリズム打ちからメロディーのでる楽器が使用できるようにしました。(鍵盤ハーモニカなど)

専門講師による指導は、年長組、年中組ともに月2回実施しました。

⑦ 体育指導

基礎体力が身につけていくように体操器具を使いながら躰のいろいろな部分が動くようにしました。マット・跳び箱・平均台・鉄棒・縄跳び・ボールなど、発達に応じた各学年の内容の指導計画を作成しました。専門講師による指導は、各学年年間12～13回実施しました。

⑧ 英語レッスン

楽しく英語に親しめるように外国人講師の先生と一緒に歌やゲーム遊びを行ないました。

年中組、年長組ともに年7回実施しました。

⑨ 絵画指導

表現活動を通じて今期と集中力を身につけます。年間8回 年少組、年中組は各クラス1回 年長組は各クラス2回指導を受けました。

⑩ 保育研究者や教育機関との連携

専門機関との連携をとりました。

集団に入りにくく不安定な行動が目立ったり、言葉に関する問題を持っているといったことについて専門的な話を聞いたり、相談したりするようにしました。

⑪ 特別支援教育

症状により相談に応じ支援学級は編成せず、統合保育として行ないました。

子どもたちには、いろいろな人がいることを知ったうえで、どんな人も認めあえるような、心の大きな人になってほしいと願っています。

⑫ 学校評価

自己点検、自己評価を実施し、教師自らの振り返りを行ないました。

学校関係者評価委員会を開催し、家庭連携の工夫についてご意見を頂きました。

(3) 学期等の状況 3学期制
 始業日・終業日 一学期 4月10日 ~ 7月20日
 二学期 9月1日 ~ 12月20日
 三学期 1月9日 ~ 3月20日

(4) 保育時間等の状況
 保育時間 園 則 午前9:00 ~ 午後2:00
 実 態 午前8:40 ~ 午後2:10
 登降園時間 登園時間 午前8:40 ~ 午前9:00
 降園時間 午後2:00 ~ 午後2:10

(5) 幼稚園5日制および教職員週休2日制
 ① 幼稚園5日制 実施 月3回土曜休日
 ② 教職員週休2日制 実施 完全週休2日制

(6) 入学金、保育料および諸経費

	入学金	保育料/月	給本代/月	給食費/月平均	PTA/月平均	冷暖房費/月	(4・8月除く)
5才児	50,000円	22,000円	420円	4,540円	500円	600円	
4才児	60,000円	24,000円	430円	4,540円	500円	600円	
3才児	70,000円	26,000円	380円	4,540円	500円	600円	

(7) 保育料等の減免制
 ① 入園一時金の減免 減免の制度あり
 ② 経常的納付金の減免 減免の制度あり
 ③ その他の納付金の減免 減免の制度あり

(8) 預り保育の実施状況
 ① 通常保育期間中 実施時間 午後2:00 ~ 午後5:00
 ② 早朝預り保育 実施時間 午前7:30 ~ 午前8:40
 ③ 延長預り保育 実施時間 午後5:00 ~ 午後6:30
 ④ 土曜日預り保育(第2、3、4) 実施時間 午前8:00 ~ 午後2:00
 ⑤ 春休み中保育 実施時間 午前8:00 ~ 午後6:00
 ⑥ 夏休み中保育 実施時間 午前8:00 ~ 午後6:00
 ⑦ 冬休み中保育 実施時間 午前8:00 ~ 午後6:00

(9) 給食の実施状況
 ① 実施方法 給食業者に委託
 ② 適当り平均実施日数 4日

(10) 課外活動の状況
 ① 体操教室 月4回 ② 英語で遊ぼう 月1回 ③ チアダンス教室 月4回 ④ サッカー教室 月4回
 ⑤ English School 月3回

(11) 健康診断の実施状況
 園 児 実施 台帳あり・教職員 実施 台帳あり

(12) サポート(子育て支援)体制の状況
 ① 未就園児親子登園と園庭開放
 不特定多数の未就園親子を対象にした子育て支援活動を実施
 毎月第2土曜日 親子であそぼう実施
 毎月第4土曜日 その月に相応した、お楽しみ会等実施
 ② 教育相談
 毎週水曜日 午前中 電話相談実施
 第2・第4土曜日 教育相談実施
 ③ 2歳児プレイルーム
 週1回 4コース
 身体の成長とともに知能や思考力、情緒、感性、社会性などの育ちの足がかりとして、
 色々な経験を与え、他の子どもとも少しずつ触れ合える場になっています。

(13) カウンセリング体制の状況

①キンダーカウンセラー

保護者の育児不安の解消、家庭教育の支援、教諭の保育指導の悩み等に対応するため、臨床心理士によるカウンセリングを年間12回実施。

②臨床心理士による障がい児勉強会

障がい児に関する臨床心理士による勉強会を年1回実施。

(14) 安全・防犯体制の状況

① 監視カメラの設置

正門、南門、園舎北側通路、南側通路に取付け

② 非常用緊急通報装置の設置

各保育室・ホール・園庭など30箇所にワイヤレスカード式送信機を設置、警備会社にも直通

③ 教職員による見回り

園の門は朝の登園が終われば閉め、その後1時間おきに園庭周りの巡廻実施

④ さすまたの設置

園舎1F及び2F廊下に不審者侵入対策としてさすまたを設置

Ⅲ財務の概要

学生生徒納付金収入は、園児数321名の本年度105,908千円で前年度比1,879千円減額となりました。経常費補助金等の補助金収入も、68,509千円と前年度比の5,328千円減額になりました。

また、今年度は園内設備の充実に努め、施設整備関係支出は15,267千円となりました。

次年度繰越支払資金は263,804千円と前年比50,594千円の増加となりました。

事業活動収支では、本年度教育活動収入は前年比1,404千円減額の215,558千円となり、教育活動支出186,115千円との差額で29,443千円の収入超過となり、資産の取得による基本金の組入14,253千円を考慮して、当年度収支差額は15,194千円となりました。